



第1回全国大会

期日 2004年2月28日(土), 29日(日)
会場 園田学園女子大学 開学30周年記念館(兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1)
主催 情報コミュニケーション学会
後援 兵庫県教育委員会 尼崎市教育委員会 兵庫県教育工学研究会 近畿情報教育連合
協賛 明治大学情報科学センター 園田学園女子大学

2月28日(土) 13:00~19:30

総会 13:00~13:30 3F 大会議室

基調講演 13:30~14:30 3F 大会議室

「知の創発を目指した学会活動の確立に向けて」

講師 明治大学法学部教授

阪井 和男 氏

招待講演 14:40~15:25 3F 大会議室

「情報教育の可能性を目指して - 映像メディア制作による協同学習 - 」

講師 千葉商科大学政策情報学部専任講師

星田 昌紀 氏

座長 明治大学文学部教授

石川 幹人 氏

映像制作による企画力・表現力の養成の協同学習について発表する。実際に大学の星田ゼミや、社会人向けの映像講習会で制作された映像をご覧いただきながら、その制作過程およびプロの評価について解説を加える。映像を見るのではなく、制作することで体験できる、新しい学習のパラダイムについても言及する。

企画セッション 15:40~17:40

K-1 異なる学習形態における e-learning の実際とその学習効果---4F 情報コミュニケーション演習室
コーディネータ: 堀田博史(園田学園女子大学)

このセッションでは、現在、生涯学習や高等教育など様々な分野のもと、異なる学習形態で行われている "e-Learning" をキーワードに、実践研究者が集い、その現状を報告する。また今後課題となる、e-Learning による学習効果についても討議に含めたい。

1. e-Learning による高大連携授業の成果と展望
木島行雄(園田学園高等学校)
2. e-Learning による生涯教育の実践
- Flash で作成した教材の利点とチャットの活用について -
吉崎弘一(園田学園女子大学)
3. 高等教育における遠隔オンライン学習の成績判定と単位認定
牧野由香里(関西大学総合情報学部)
4. ユビキタスを目指した学習支援システム
- 携帯電話による簡易学習診断システムの開発と評価 -
遠本真希, 山本恒(園田学園女子大学)
5. ケータイ学習 m-Learning: ICT の私事性と公共性
西之園晴夫(佛教大学)

K - 2 若者の携帯電話文化を利用者からの問題提起を通じて考える -----3F 大会議室
コーディネータ：太田和志（東大阪大学短期大学部）

携帯電話は単なる電話としての機能だけではなく技術の進歩により、今やマルチメディアコミュニケーションツールとなり、若者の間では必需品となっている。この携帯電話について利用者の生の声を通して若者の携帯文化について考える。

1. ケータイメールによるチェーンメールの実態
木村伸司（大阪府立港南高校）
2. フェイスマークの感情伝達に関する研究
相互理解できるフェイスマークと誤解を招きやすいフェイスマークについて
藤川宏美，山本恒（園田学園女子大学）
3. メッセージ圧縮表現の理解度に関する研究
上田千重子，小田桐良一（園田学園女子大学）
4. 携帯電話の文字入力における利用形態とその問題点
社領智里，植村唯邦（園田学園女子大学）
5. 電車内での携帯メール利用マナーの悪さと道徳に対する意識に関する調査研究
北村紘子，植村唯邦（園田学園女子大学）
6. 携帯メールにおける方言使用の要因について 関西弁と金沢弁
石垣智子，宮本節子（姫路工業大学環境人間学部）

K - 3 情報教育とコミュニケーション能力 -----4F 情報講義室
コーディネータ：原克彦（園田学園女子大学）

小中高等学校で進められている情報教育の中でのコミュニケーション能力の育成について焦点を当て、その実践と問題点について考える。特に、小学校段階でのコミュニケーション能力の育成については、その後のコミュニケーション能力の基礎となる部分であり、そこでの指導の重要性が指摘されている。しかし、始まったばかりの学校では、カリキュラムについても模索状態が続いていることも否めない。ここでは、それらの具体的な取り組みを中心に、その方向性と、中高等学校へのカリキュラムの連携についても考えていきたい。

1. 情報手段を使ったコミュニケーション能力の育成について
米田浩（尼崎市立教育総合センター）
2. コミュニケーション能力を育む情報教育カリキュラムの開発と実践
島田佳幸（尼崎市立下坂部小学校）
3. 遠隔共同学習カリキュラムの開発とその実践
- 交流掲示板を活用したコミュニケーション能力の育成 -
岸田隆博（兵庫県立人と自然の博物館），酒井宏（春日町立春日部小学校）
芦田繁昭（柏原町立崇広小学校），細見隆昭（氷上町立西小学校）
4. 情報活用能力を基にした「生きる力」の育成
寺田潤子（京都市立藤城小学校）

ディスカッション 「情報教育におけるコミュニケーション能力」

4件の発表を踏まえ、情報の収集から発信・伝達の各段階で必要となってくるコミュニケーション能力の内容とその指導方法、現状での問題点などについて、小中高等学校段階での情報教育の目標と関連させながら考える。限られた時間ではあるが、学会として新しい研究の指針が得られるよう、活発な意見交換を期待する。

懇親会

18:00～19:30 2F チャティー

2月29日(日)9:10~12:40

一般研究発表 9:10~11:10

S - 1 情報化社会における諸問題 -----4F 情報コミュニケーション演習室
座長：松永公廣（摂南大学）

1. 携帯電話がつくる生活文化 最近の事例より
松永公廣（摂南大学）, 松永ちとせ
2. 高校生と大学生における携帯電話の利用形態
太田和志（東大阪大学短期大学部）, 杉本耕一（敬愛女子高等学校）
3. ホームページ情報の受発信に伴う著作権の問題
大貫恵理子（大阪大学大学院法学研究科）, 宮本節子（姫路工業大学環境人間学部）
4. こころのまなざしプロジェクト ~真の視聴覚教育を目指して~
兵庫県高等学校教育研究会視聴覚部会調査研究部一同 澤田裕一〔代表〕
5. 企業人が期待する「新入社員のコンピュータリテラシ」
山口定夫（関東学院大学）
6. 自己学習における学習継続要因の抽出
江端いづみ, 堀田博史（園田学園女子大学）

S - 2 コミュニケーションの変遷とその支援ツール -----4F 情報講義室
座長：中田平（金城学院大学）

1. 教育における情報革新とコミュニケーションの変遷
徳野 理（園田学園女子大学）
2. 職場環境と情報紙のあり方
岡田俊一（武庫川女子大学情報メディア学科）
3. 「おはようタッチくん」の開発
幼稚園における出欠確認を利用した心体調査システム
元谷祐美子, 山本恒（園田学園女子大学）
4. 描画機能を持つコミュニケーションツール「NetBoard」の設計と開発
池部実, 大岩幸太郎, 山下茂（大分大学教育福祉科学部）
5. 家庭向け学習支援のための Web デザインの実践的な研究
栗山健(学習研究社), 三宅丈夫(学習研究社), 船城英明(学習研究社)
原克彦（園田学園女子大学）
6. Zope による分散環境を用いた Web3D の統合利用
西尾吉男（金城学院大学現代文化学部）, 横井茂樹（名古屋大学大学院人間情報学研究科）
7. 「汎太平洋名古屋平和博覧会」(昭和12年)会場のCGによる再現
中田平（金城学院大学）

S - 3 ネットワークコミュニケーション -----3F 大会議室
座長：上谷良一（兵庫県教育委員会教育企画室）

1. 兵庫県立学校の情報化
上谷良一（兵庫県教育委員会教育企画室）
2. 高校教員による「ひょうご ICT 研究会」について
長澤和弥（兵庫県立川西緑台高等学校）
3. UDA（ユニバーサルデザイン&アクセシビリティ）プロジェクト
~ Webユーザビリティと情報教育 ~
佐藤万寿美, 吉井千恵子（兵庫県立西宮今津高等学校）
深野淳（甲南大学大学院自然科学研究科）, 辻田忠弘（甲南大学理工学部情報システム工学科）

4. テレビ会議システムを用いた高大連携による情報教育に対する提案
 深野淳, 吉川太郎 (甲南大学大学院自然科学研究科)
 佐藤万寿美 (兵庫県立西宮今津高等学校), 辻田忠弘 (甲南大学理工学部情報システム工学科)
5. ソウルの高校生との交流 テレビ会議やウェブサイトの交流学习への活用
 小西和治, 佐藤万寿美 (兵庫県立西宮今津高等学校)
6. 「Hyogo 夢舞台より世界へ, ネットワークコミュニケーションの架け橋」
 ~ 2003 iEARN 国際会議 in JAPAN での ICT とボランティア ~
 藪内昌彦 (CRC テクニカル株式会社・2003iEARN 国際会議 ICT 部会長)
 佐藤万寿美 (兵庫県立西宮今津高校・2003iEARN 国際会議 ICT 部会ボランティア)
 上谷良一 (兵庫県教育委員会・JEARN 理事)

特別講演

11:20~12:40 3F 大会議室

「ネットワーク・リアリティ~ポスト高度消費社会を読み解く~」

講師 早稲田大学理工学部助教授 木村 忠正 氏

「ネットワーク・リアリティ」とは、情報ネットワークが社会生活、産業経済活動にとって不可欠のインフラとなるにしたがって動的に形作られる現実を指すと同時に、これからのあるべき情報ネットワーク社会像を構想することを意図した造語である。この講演では、先駆的・先端的 IT 社会であるアメリカ、韓国、北欧（スウェーデン、フィンランド）、さらに、産業経済的にも国際的に大きな影響を及ぼしている中国（北京）、それぞれのネットワーク・リアリティを、現地調査をはじめとする多様な調査研究にもとづいて分析する。そして、それぞれの社会における IT と社会、産業経済との関係を、産業社会の歴史的展開という文脈に定位することで、日本社会がどのようなネットワークリアリティを構築するべきかを探り、日本社会の課題と今後のシナリオを提示することを試みる。

講師紹介：



ニューヨーク州立大学、東京大学大学院で文化人類学を専攻。東京都立科学技術大学助教授を経て現職。現在、朝日ニュースター「ニュースの深層」火曜日キャスターも務める。インターネットを中心にした情報ネットワークと社会、文化との関係、「情報化社会」に関する理論的・実証的研究を主な研究領域とする。主著に『デジタルデバイドとは何か』（岩波書店、2001年、電気普及通信財団テレコム社会科学賞）、『ネットワーク・リアリティ~ポスト高度消費社会へのシナリオ~』（岩波書店、2004年3月刊行予定）など。

企業展示 2月28日(土)29日(日)

全国大会開催期間中、情報や教育、コミュニケーションに関係する企業の展示を行なっております。

参加を希望される方は、できるだけ事前にお申し込みください。(お申し込み先は学会ホームページをご覧ください)

参加費等は以下ようになっております。(学会員以外の方も参加費はお支払いください)

参加費(大会要項) 1000円 論文集 2000円 懇親会費 4000円

今後の変更に関しては、情報コミュニケーション学会ホームページ (<http://www.sonoda-u.ac.jp/ics/>) でご確認ください。

お問い合わせ先 園田学園女子大学 情報教育センター内 情報コミュニケーション学会事務局

e-mail: ics@sonoda-u.ac.jp, TEL(06)6429-9909, FAX(06)6424-2188